

令和6年度における国土交通省 EBPM 取組方針

1. 主な経緯

EBPM (Evidence-Based Policy Making、証拠に基づく政策立案) とは、政策目的と手段の論理的な関係を明示し、それにより政策目的に沿った事業の進捗等を把握できることを目指したものである。EBPM は、その基本的な考え方等を理解し、政策の立案・改善や予算編成過程といった意思決定プロセスにおいて EBPM の考え方に基づいて実践することが重要である。

国土交通省では、平成 29 年度から EBPM の理解を促進する取組を実施してきた。特に令和5年度からは行政事業レビューに EBPM が位置付けられ、予算事業における EBPM の考え方の活用が期待されているところである。

2. 令和6年度の国土交通省における EBPM の取組

令和6年度においても、「今後の EBPM の取組について」(令和6年1月30日 内閣官房行政改革推進本部事務局) や「令和6年度国土交通省行政事業レビュー行動計画」(令和6年5月20日) 等と整合しつつ、政策の立案・改善や予算編成過程において行政事業レビューを活用するなど、幹部職員や管理職を含めて組織的に EBPM の考え方に基づいた取組を実践する。この一環として、必要に応じて国土交通省が委嘱する外部有識者や EBPM 補佐官(内閣府行政改革推進本部事務局が派遣) 等からの助言を得つつ、本年度においては具体的に以下の内容に取り組む。

(1) 行政事業レビューシートの作成支援

「行政事業レビューシート作成ガイドブック ver.1.0」(令和6年4月22日 内閣官房行政改革推進本部事務局)、「EBPM ガイドブック ver1.2」(令和5年4月3日 内閣官房行政改革推進本部事務局) 及び「行政事業レビューシート政策効果の測定のポイント」(令和5年12月 内閣官房行政改革推進本部事務局・総務省行政評価局) 等の EBPM の実践に役立つ資料を始めとして、EBPM の実践に有用な研修資料を共有するほか、総務省が実施する統計研修等の受講を促進し、個々の職員の知識の習得を支援する。

(2) 行政事業レビューシートの内容確認・助言の実施

行政事業レビューシートの各アウトカムにおいてアクティビティに対応した成果指標の設定状況や、全体のロジックのつながりの分かりやすさなどの観点から内容確認と助言を行う。また、行政事業レビューシートの品質向上等を図るため、適宜、個別の行政事業レビューシートを対象とするヒアリングを行う。

(3) 研修等の実施

EBPM の基本的な知識や考え方を習得するための初任者向けの研修を実施する。また、行政事業レビューシートの作成経験者向けに、これまでの実際の改善内容等を題材として、有識者も参加する研修会を開催して個々の職員の知識を深める取組を行う。

(4) 優良な事業改善の省内展開

「令和6年度 国土交通省行政事業レビュー行動計画」に示されている優良な事業改善の取組の選定、表彰と連携した対応として、国土交通省行政事業レビュー推進チーム（統括責任者：官房長）に対し、EBPM の観点から優良な事業改善の取組に相応しい行政事業レビューシートを推薦する。また、選定された同レビューシートの内容を EBPM 推進委員会に報告する。

(5) 行政事業レビュー以外における EBPM の実践

各局等の予算事業を対象とする行政事業レビュー以外の政策プロセス（規制の立案・評価・見直し、税制改正プロセス等）においても、EBPM の実践を行うことに努める。

3. 取組にあたっての留意事項

EBPM とは、①政策目的を明確に設定し、②その目的の達成のために真に効果がある政策手段は何かなど、当該政策の目的と手段の関係を論理的に明らかにした上で、③この関係の裏付けとなるデータ等のエビデンス（根拠）を可能な限り求め、「政策の基本的な枠組み」を明瞭にする取組である。

特に、EBPM の検討に際しては、政策手段と目的の関係を論理的に明らかにするロジックモデルの検討とアウトカム指標の設定が重要であるが、長期アウトカムの設定が容易ではない、また、アクティビティとアウトカムの関係を十分に記載するには必要なデータを簡便に入手できないなどの課題がある。このため、「令和6年度国土交通省行政事業レビューシートの作成に際しての EBPM に関する留意事項について」（令和6年4月26日 総合政策局 情報政策課（EBPM 担当））及び「府省横断的ワークショップの結果報告」（令和6年4月 内閣官房行政改革推進本部事務局・総務省行政評価局）等も参考にするとともに、国土交通分野のデータ整備・活用・オープンデータ化プロジェクト（Project LINKS）の活用も視野に入れつつ、EBPM の検討に取り組む必要がある。